



浦安市障がい者就労支援センター
(浦安市ワークステーション1F)

住所 279-0032 浦安市千鳥15-5

TEL 047-304-6200

FAX 047-304-6202

✉ urayasu-syurosien@roukyou.gr.jp

開館日 月曜日～金曜日(祝日を除く)

開館時間 午前9:00～午後5:30

<受託事業者>

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団



手づくりシフォンケーキとこだわりのコーヒー

大量注文に「よし！」

NPO法人

あいらんど

浦安手をつなぐ親の会から生まれたNPO法人あいらんど(浦安市当代島)は、「ワーク・デ・あいらんど」「カフェ・デ・あいらんど」(ともに就労B型)を運営しています。2009年の法人設立から、浦安市内で長年就労支援を行ってきた事業所について、小川礼子理事長にお聞きしました。

ワーク・デ・あいらんど

シフォンケーキとクッキーのお店「ワーク・デ・あいらんど」は、地域作業所として2004年4月に開所。北海道産の小麦を使った手づくりのシフォンケーキやクッキーは、地域の人に広く親しまれている。ケーキづくりは、生地混ぜ・練り・寝かしなど多くの工程がある。「みんな黙々としっかり仕事をしてくれる。ステキですよ。一緒に作業をすると『小川さん遅い』と叱られます」。利用者さんは各工程を職人技でこなしていく。

クリスマスやお祭りなどイベントの季節になると、自治会やPTAからシフォンケーキの大量注文もある。利用者さんは「よし！」と気合が入る。一方、スタッフは冷静に。材料の計量からケーキの焼き上がり、商品ができるまでに約1週間かかるため、材料の発注から逆算して計画をしっかり立てる。利用者さんが「どこまでできるか？」を見極めつつ、「落ち着いて、深呼吸しよう」と声かけをしながら冷静に対応している。



▲1年中「氷」の旗がかかっている
カフェ・デ・あいらんど

カフェ・デ・あいらんど

当代島公民館1階の喫茶店「カフェ・デ・あいらんど」では、ランチや軽食、コーヒーや手づくりシフォンケーキが楽しめる。コーヒーは、函館の老舗コーヒー店・美鈴コーヒーの豆を使って淹れるこだわりの一杯。1年中提供しているかき氷は、1部のお客さん(小川理事長)には人気となっている。仕事は朝礼でそれぞれの1日の役割分担を決め、調理以外の開店準備や掃除、接客などは利用者さんが担当。月1回は利用者さんとスタッフでミーティングを行い、新メニューをみんなで考え、試食して「おいしい」という料理をお客さんにふるまっている。



▲函館美鈴コーヒーの豆を使用

生活支援員の松丸さん

利用者さんには、「お客さんがおいしいと食べて、喜んで帰ってもらえることでカフェの売上も上がり、みんなの給料も上がるよ」と伝えています。現在、工賃を貯金してみんなでディズニーランドに行くツアーを計画中。園内にゴミは落ちていないか、お客さんから質問されたらキャストの人はどう答えるのか、を実際に接客のプロ、おもてなしのプロを観て仕事に活かしてほしいです。



▲年始にはメンバーの顔写真真入りの
挨拶状を作成

◆浦安手をつなぐ親の会 浦安市に居住する知的障がい者・児を持つ保護者の会として、1977(昭52)年に発足。子供の幸せを願って親同士で話し合い、福祉の向上と制度の確立を進める活動を行い、簡易マザーホームの開設や、義務教育を終了した者の余暇活動の場としてきぼう青年学級を企画・運営してきた。

クリスマスの語源は「Christ（キリスト）のmass（ミサ＝礼拝）」が元になっています。クリスマスの起源を「キリストの誕生日」と思っている方が多いかと思いますが、「キリストの誕生日」は様々な説があり、クリスマスは「キリストがこの世に誕生（降誕）」をお祝いするイベントになります。一説には紀元4、5世紀ごろから始まったと言われています。



日本のクリスマス

1550年頃、スペインの宣教師「フランシスコ・ザビエル」が来日し、クリスマスが祝われるようになりました。江戸時代には「キリスト教禁止令」が出されましたが、明治時代に再びクリスマスを祝うようになりました。

クリスマスの食べ物

日本のクリスマスと言えば、思い浮かぶのがショートケーキやフライドチキンだと思います。ドイツのシュトーレン、イギリスのミンスパイ、フランスのブッシュドノエル、アメリカやカナダではロースターキーなど各国、様々な食べ物でお祝いしています。



サンタクロースやクリスマスツリーなど、その他にも様々なクリスマスにまつわるものがあります。それぞれいろいろな由来があります。興味がある方は調べてみてください。

新型コロナウイルス感染症対策について



2023年5月8日より新型コロナ感染症法上の位置づけが5類に移行しました。



マスクの着用については個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断で着脱をお願いいたします。



咳エチケットの観点から、職員はマスクを着用しております。



面談および講座の運営は、ソーシャルディスタンスを保ち実施しております。

よろしく
お願いします



支援センターまでのアクセス



アクセス

公共交通機関 舞浜駅南口より東京ベイシティバス20系統千鳥線（バス乗車10分）
舞浜行（千鳥循環）千鳥西行 クリーンセンター行 クリーンセンター下車 徒歩7分

※千鳥車庫行のバスはクリーンセンターバス停には停車しません。

